



横浜

チャレンジスポーツ！

やってみよう！ 見てみよう！ 手伝ってみよう！

横浜チャレンジスポーツ！2018 7月16日 活動報告

『全ての子ども達に、笑顔でスポーツのある日々を』

- ・さまざまな障がいの子
- ・スポーツをみんなで始めてみたい子
- ・お手伝いしたい子
- ・パラリンピック選手、プロ選手のプレイをまぢかで見てみたい子

日時：2018年7月16日（月・祝） 9:30～15:00

会場：横浜市港北区 横浜ラポール メインアリーナ 和室 40 畳（休憩室）

参加費：無料

主催：NPO 法人 BLACKSOX

後援：横浜市市民局 健康福祉局 横浜市体育協会 横浜こどもスポーツ基金 横浜市テニス協会

開催目的 ミッション(めあて)

- 様々な障がい児・きょうだい児・スポーツに親しんでいない健常児 みんなで一緒に『やってみる』『見てみる』を体験してもらい、全ての子ども達の生活の中にスポーツを通じ笑顔のある日々の定着を目指す。
- スポーツ・ボランティア未経験、障がい児者と接するのに慣れていない主に健常児親子・学生に『お手伝い』のコツの研修・実践の機会とし、コミュニケーションのルールや共感力を育む。
- 子ども達がスポーツ選手・障がい者選手（パラリンピック選手）と触れることで相互理解、共感力を育む機会、応援するきっかけを作る。
- 各スポーツ団体・選手の「様々な障がいを持つ子ども達への対応、健常児との関係性」などの情報交換、共有の機会を作り、子ども達の新しいスポーツ環境の整備を促す。
- 学校・各区スポーツ協会・地域スポーツ団体などと連携し、事前研修・打ち合わせを定期的で開催。運営などに携わってもらい継続した地域スポーツコミュニティ・シビックプライドを醸成するきっかけとする。

全ての子ども達に『楽しい』『またみんなに会いたい』『またスポーツがしたい』と思ってもらおう。

参加者

子ども参加者（障がい有無に関わらず） 総合受付 64名 ・AM43名 ・PM21名

各種スポーツ延べ参加人数

- ・電動車椅子サッカー 30人
- ・ボッチャ 98人
- ・ゆるスポーツ 59人
- 風船バレー 79人
- ・チャレンジテニス！ 前半 82人 後半 47人 計 395人

広報 ポスター掲示・チラシ配布など

横浜市港北区・都筑区・神奈川区 全小学校（68校） 横浜市特別支援学校（12校）

療育センター（9校）各区スポーツセンター 文化体育館 横浜国際プール 横浜ラポール など

タイムスケジュール

2018年7月16日 横浜ラポール 9:30~15:00 タイムスケジュール		
9:40~10:30 準備開始 親子・学生ボランティア研修		
10:30 受付開始		
10:40~11:40 【運動量少なめ】 メインアリーナ 3分割		
電動車椅子サッカー	ボッチャ	チャレンジテニス!
11:45~ 【自分のペースで・みんなで】 かけっこリレー		
12:10~ 応援しよう! 電動車椅子サッカー デモンストレーション		
12:20~ チャレンジスポーツ! 宣言 ※・電動車椅子サッカー 永岡真理選手 ・横浜市議員 鈴木太郎さま		
全員写真撮影 お昼休み		
13:00~ テニスを見てみよう!・ゆるスポーツ説明		
13:10~14:10 【運動量多め】 メインアリーナ 3分割		
ゆるスポーツ	風船バレーボール	チャレンジテニス!
14:15~ ボランティア振り返り会・清掃		

実施種目と実施団体

- ・電動車椅子サッカー Yokohama Crackers
- ・ボッチャ 横浜ボッチャ協会
- ・ゆるスポーツ 横浜ゆるスポーツ協会
- ・かけっこリレー! NPO 法人 BLACKSOX
- ・チャレンジテニス! NPO 法人 BLACKSOX
- ・風船バレー! NPO 法人 BLACKSOX
- ・ボランティア研修 電動車椅子サッカー / 横浜ボッチャ協会 / NPO 法人 BLACKSOX
- ・チャレンジスポーツ! 宣言 電動車椅子サッカー 永岡真理選手 / 横浜市議員 鈴木太郎さま



お手伝い・ボランティア

・学生ボランティア 8名 ・親子ボランティア 子ども 5名 親4名
スタッフ 計60名



アンケート 全11枚

○ 横浜チャレンジスポーツ！は何回目ですか？

・始めて 9名 ・2回目 1名

○ このイベントに参加して何かお子様やご自身に変化があったことや、エピソードなどありましたら、是非聞かせてください。

・こわがらずに出来た。初めて電動車イスに乗った。

・てにすをはじめてやった

・テニスもボッチャも初めてでしたが、盛り上げ、ほめていただいたことで自信につながったかと思います。

・3年通いようやく打ち返せるくらいですが、達成感があったり、がんばた、楽しい、ボランティアさんと会えてうれしいという気持ちがめばえている。いつも忍耐強く教えて下さりありがとうございます。

・まだ2回目でなんとも言えませんが、楽しく参加させていただいています。スポーツになじみがあまりない障害児にとってはとても楽しく参加できると思います。

・車イスの方々などを見て、周りにいたら助けてあげたいと思ったと子供がいました

・いつもあまり話した事のない顔見知りの方とおはなしできてよかったです。

・車イスサッカーの電動車イスに乗せて頂きました。一人で運転させて下さって止まることができるだろうかとドキドキしながら見ていましたが、以外にもでき、びっくりしました。

○ 楽しかったことはなんですか？ イベントの感想は？

・サッカー、ボッチャ、テニス全て楽しく出来ました。妹も一緒に楽しめました。

・電動車イスサッカー 本人が楽しそうだった。

・テニスやボッチャをボランティアさんが出来たことをほめてくれたりもりあげてくれる

・ボッチャが楽しかったです

・電動車イス テニス ボッチャで2回勝てたことが楽しかった

・テニスでいろいろな方が声をかけてくれてうれしかったです。

・ふうせんバレー テニス

・電動車イスサッカー

・車イスサッカー ラグビー

○ こうしたほうがいいと思ったことはありますか？

・始まる前に1枚正面から写真とる時間ほしかった。初めて乗る車イスとかあったので。

・たつきゅうをやりたい。

・昼食前に集まってお話しをきいた時、マイクの音が少し小さくて聞きづらかったです

・車椅子サッカーはすぐ受付が終わってしまい参加出来ず残念。

・テニスは名前で呼んでくれたけどある種目ではせっかく名札を付けているのにその人とかあなたとか呼ぶのは・・・？

・もう少し大きな声ではっきり話してほしいです。

○ 横浜チャレンジスポーツ！を何で知りました？

・チラシ・ポスター

・チャレンジテニス！に参加して（2）

・学校のチラシ

・ラポールのチラシ ブラックソックスの紹介

・小学校の学童からのチラシ

・知人より

○ 性別 年齢 区

・男7名 女4名

・6歳 7歳（2） 8歳（2） 13歳 14歳（2） 21歳 23歳

・港北区（2）・栄区・磯子区・港南区・神奈川区・南区・都筑区（3）

今後

・障がいの有無に関わらず、全ての子ども達が楽しめる新しいコミュニケーションスポーツをゆるスポーツ協会等と連携し、主に学生と共に考え創りイベントで実施してみる。

それにより、多くの子ども達がスポーツを楽しむ機会となるだけでなく、学生たちへの活きたダイバーシティ教育、他者を想う共感力の向上などの実践の機会とする。

・スタッフがSNSなどで情報を共有し、打ち合わせ研修を通年で開催することにより、1回その場だけの参加でなく、より積極的にコミュニティに参画し、継続した地域スポーツコミュニティ・シビックプライドを醸成するきっかけとする。

・社会的に恵まれない児童養護施設の子ども達にも参加を促し、スポーツの楽しさ、社会参加の機会とする。

・普段スポーツ機会の少ない医療的ケアの必要な子ども達が楽しく安心して参加出来るようなプログラムを入れ、健常児とともにコミュニケーションの取り方、サポートのされ方仕方を体験する機会とする。



横浜チャレンジスポーツ！2018 0716 活動写真

1 ボランティア・お手伝い研修



2 参加者入場 受付 体操 チャレンジスポーツ！開始！



3 電動車椅子サッカー



4 ボッチャ



5 かけっこリレー！



6 電動車椅子サッカー 見てみよう



7 チャレンジスポーツ！宣言 電動車椅子サッカー 永岡真理選手 横浜市会 鈴木太郎議員



9 ゆるスポーツ



10 風船バレー！



11 チャレンジテニス！



12 ボランティア・お手伝い振り返り

